

## 伊良湖岬中学校統合について

### 1. これまでの取組状況

#### 1 伊良湖岬3小学校について

- (1) 和地小、堀切小及び伊良湖小については、話し合いの結果、平成25年10月に岬3校区会長の連名で「小学校再編の要望書」が市長及び教育長へ提出されました。

＜要望書の主な内容＞

- ・平成27年4月に3小学校を統合すること。
- ・統合の形式は新設とし、一時的に和地小学校の施設を使用すること。
- ・新小学校は、防災面などを考慮し渥美運動公園周辺に建設すること。

- (2) この要望を踏まえて平成25年11月に、教育委員会で「和地小学校・堀切小学校・伊良湖小学校再編整備方針」を定めました。

また、平成25年12月には、新しい学校の開校に向けて準備をするため、「和地小学校・堀切小学校・伊良湖小学校統合準備委員会」が発足しました。

委員会が13回開催され、新小学校の名称を「伊良湖岬小学校」とすること、新設小学校の建設候補地を「岬中跡地等」にすること、スクールバス運行、PTA組織のあり方、閉校記念事業などについて協議が重ねられました。

#### 2 伊良湖岬中学校について

- (1) 伊良湖岬中の再編については、地元3校区（和地、堀切、伊良湖）で話し合いが持たれる一方、平成25年7月に渥美地域8校区会長の連名で、「岬中学校の再編について、渥美地域の校区で協議の場を設けたい」との要望書が提出されました。

- (2) 1年後の平成26年6月に渥美地域校区総代会会長名で、「岬中学校の移転時期及び移転先は岬3校区の意見を尊重し判断してほしい」と報告が出されました。

- (3) この8校区からの報告（平成26年6月）と統合準備委員会（岬3校区）での議論（平成26年6月～7月）を踏まえ、平成26年7月に教育委員会として、伊良湖岬中学校と伊良湖岬小学校について「今後の考え方」を示しました。

#### 【今後の考え方】

- (1) 新設の伊良湖岬小学校は、伊良湖岬中学校跡地に新校舎を建設し、予定どおり平成32年度に和地から移転する。

＜理由＞

- ① 岬中が他校へ移転することで、その跡地にフルセット（校舎・運動場・体育館・プール）の岬小の校舎建設が可能となる。
- ② 南に面し日当たりがよく、北に山があり北西風を防ぐことができる。
- ③ 岬小の建設候補地は小塩津集落に隣接し、海拔も21m（総合体育館周辺は17m）と高く、防犯・防災面からも安心できる。また岬3校区の中心的なところに位置している。
- ④ 関係する地権者が少なく、用地買収の手続きの長期化を防ぐことができる。

- (2) 伊良湖岬中学校の統合先については、和地での一年間の共同の学校生活を経て判断する

こととし、おそくとも平成27年度末までに地元の意見を踏まえ教育委員会で決定する。  
岬中は平成30年度には他校に統合する。

(統合先案／① 福江中 ② 赤羽根中 ③ 福江中又は赤羽根中)

<理由>

- ① 少子化で、特に生徒数の減少に歯止めがかからない岬中については、他校への統合が緊急の課題となっている。(ここ数年の出生者は毎年20人前後)
- ② 統合先の議論に、平成27年度末まで一定の時間をかけることが出来、子ども・保護者などそれぞれの体験を踏まえた上での地元の意見が反映される。

## 2. 学校再編の全体配置計画

### 1 学校全体配置計画について

平成26年12月に学校再編の基本方針としての「学校全体配置計画」(第2次方針)を策定

この「学校全体配置計画」を基にして市民の皆さまと意見交換を重ね、協働して新しい田原の教育環境の整備を進めていきます。

学校再編にあたっては校区単位を原則とし、隣接する学校への再編を基本として当該校区での十分な協議を基に進めていきます。

### 2 伊良湖岬中について

#### (1) 再編の方式

- ・伊良湖岬中地域がまとまって i 赤羽根中あるいは ii 福江中、または iii 地域を分けて赤羽根中と福江中に分かれるの3方式の、いずれかとします。
- ・統合先は伊良湖岬小(和地)での一年間の共同の学校生活を経て、地元とともに判断することとし、平成27年度末までには統合先を決定します。

<再編の理由>

- ・学校の小規模化を回避すること。(平成26年度102人から6年後の平成32年度には79人になる見込みで約23%減少)
- ・統合への保護者の要望が強いこと。  
(移転先の複数案提示について)
- ・保護者の意見で移転先を赤羽根中とする方が多かった一方、福江中との意見もあったこと。
- ・伊良湖岬中と赤羽根中は地勢的に近いこと。
- ・伊良湖岬中と福江中は旧渥美町地域で歴史的に一体感があること。

#### (2) 統合時期

第1期(平成30年度)

#### (3) 統合校の位置

赤羽根中または福江中

#### (4) 遠距離通学への対応

遠距離通学となる生徒には、通学に対する支援をします。

### 3. 渥美地域の中学校問題について

平成27年3月31日に、市長及び教育長へ渥美地域の中学校あり方について、渥美8校区としての要望が提出されました。(別添資料)

< 内 容 >

渥美地域の中学校の再編問題については、一昨年来、渥美8校区で「中学校再編に関する研究会」を設け、地域の中学校の将来のあり方について議論してまいりました。

渥美8校区はそれぞれに長い歴史と地域性を持ち、それだけに学校再編の具体的なあり方については様々に意見が分かれました。しかしその一方で、渥美地域で進む著しい人口の減少や経済の混迷が懸念され、中学校再編の地域に及ぼす影響も強く危惧されています。

そこでこのたび渥美地域の中学校のあり方として、渥美8校区として以下の点で意見の一致をみたので、田原市長および田原市教育委員会へ要望として提出いたします。

記

- 1 渥美地域には地域の結集軸となる新設中学校を、近い将来、建設することを要望します。
- 2 中学校の設置場所については、地域の活性化の視点を持つとともに、地元や保護者の意向を十分に尊重するよう要望します。

※平成27年度校区会長及び前校区会長の連名

\*渥美8校区からの要望のとおり、渥美地域としてのまとまりは、地域まちづくりの観点で重要なこと、15年先頃を目途にこの要望による渥美地域の新設中学校について検討したいと考えている。

### 4. 伊良湖岬中学校統合検討委員会の開催

平成27年6月に伊良湖岬中学校の統合について検討するため、伊良湖岬中学校統合検討委員会を設置

伊良湖岬中学校の統合先について協議し、委員会としての意見を教育委員会教育長に報告するもの。

#### (1) 第1回伊良湖岬中学校統合検討委員会

○平成27年6月30日(火)、19時～20時30分

○委員長、副委員長の選出

○検討委員会について、これまでの経緯と今後のスケジュール等について

○統合時期、統合校、部活、通学方法のことなど質疑

\*伊良湖岬校区(和地・堀切・伊良湖の3校区)全体でまとまって統合

\*各組織の代表として意見、また個人の意見も踏まえて方向性を確認

\*委員会として各委員の意見を取りまとめて教育委員会に報告

#### (2) 福江中学校及び赤羽根中学校の学校見学会

検討委員会委員等による学校見学会を行い統合先検討の参考

○平成27年8月24日(月)

午前 9時00分から福江中学校

午前10時30分から赤羽根中学校

- (3) 福江中学校及び赤羽根中学校の学校公開日  
検討委員会委員等による授業と部活動の参観を行い統合先検討の参考
- 福江中学校  
平成27年9月28日(月) 午後2時20分から
  - 赤羽根中学校  
平成27年9月29日(火) 午後2時15分から

## 5. 校区意見交換会の開催

伊良湖岬中学校及び泉中学校の各全世帯、小中保各保護者を対象とした校区意見交換会を開催し皆さんの意見をお聞きします。

- (1) 泉校区
    - 平成27年11月17日(火) 午後7時から
    - 泉市民館
  - (2) 堀切校区
    - 平成27年11月20日(金) 午後7時から
    - 堀切市民館
  - (3) 和地校区
    - 平成27年11月24日(火) 午後7時から
    - 和地市民館
  - (4) 伊良湖校区
    - 平成27年11月25日(水) 午後7時から
    - 伊良湖市民館
- \*検討委員会委員の皆さんも地元の意見交換会へ参加して下さい。

## 6. 泉中学校再編について

- (1) 泉中学校再編検討委員会の設置  
平成27年7月に泉中学校の再編について検討するため、泉中学校再編検討委員会を設置  
泉中学校の再編について協議し、委員会としての意見を教育委員会教育長に報告するもの。
- (2) 第1回泉中学校再編検討委員会
  - 平成27年7月6日(月)、19時から
  - 委員長、副委員長の選出
  - 再編検討委員会について、これまでの経緯と今後のスケジュール等について
- (3) これまでの取組状況
  - ① 平成25年8月に「泉校区学校を考える会」が発足し、3回の会議を開催し中学校再編について協議  
また泉校区として、校区全戸にアンケート調査を行い(平成26年2月)、中学校再編についての意向の把握
  - ② 平成26年7月に教育委員会は泉中学校再編について、泉保育園・泉小・泉中の保護者から直接、意見や考え方を聞く意見交換会をそれぞれ開催  
そこでは「統合を進めて欲しい」という意見がほとんどでした。統合先については、赤羽根中と統合の意見が概ね半数を超え、他に福江中、田原中と統合したい等の意見がありました。

【泉校区での保護者の主な意見（泉保育園・泉小・泉中）】

- ・中学校統合には賛成である。
- ・統合すればクラス替えができる、競争心や向上心が育まれる。
- ・統合の時期は伊良湖岬中と同じタイミングで考えるべきである

③ 平成26年10月に泉校区の第3回学校を考える会を開催

岬3校区等の進捗状況についての報告のあと意見交換会が行われました。7月の保護者説明会での意見を受けての意見交換会となりました。

【学校を考える会での主な意見】

- ・校区アンケートでは統合に賛成でも行き先は分かれた。
- ・泉中学校の再編は、岬中学校の統合と同時進行で方向性を決めていきたい。
- ・校区から再編について教育委員会へ要望してはどうか。
- ・教育委員会が再編の方向性を示してくれたほうが保護者が動きやすいと思う。
- ・全体配置計画をみて考えたい。

④ 泉中学校再編の方式について（学校再編全体配置計画）

- ・ i 赤羽根中あるいは ii 福江中へ統合します。
- ・ 平成27度末までには統合先を決定します。

（伊良湖岬中の統合を決定するのと同時期）

<再編の理由>

- ・学校の小規模化を回避すること。（平成26年度104人から6年後の平成32年度には87人になる見込みで約16%減少）  
（移転先の複数案提示について）
- ・保護者の意見で移転先を赤羽根中とする方が多かった一方、福江中との意見もあったこと。
- ・泉中と赤羽根中は地勢的に近く、地域のつながりが深いこと。
- ・泉中と福江中は旧渥美町地域で歴史的に一体感があること。

## 7. 野田中学校統合の状況

- 平成25年3月に野田校区学校問題検討委員会が発足
- 平成26年1月に野田校区から「野田中学校と田原中学校との統合について」の報告書を市長、教育長に提出
- 平成26年2月に教育委員会で「野田中学校再編整備方針」を決定
  - ・平成28年4月1日に田原中学校へ統合
  - ・遠距離通学になるため通学支援
- 平成26年5月に「野田中学校統合準備委員会」が発足
- 原則全員が路線バスで通学、一部ぐるりんバスの利用  
平成28年4月以降に、路線バスで通学を経験した後、希望者については自転車通学を認めるもの
- 交流事業の実施、閉校式典の検討